

綾部市の包括的支援の取り組み

生活困窮やひきこもりなど、個人や家族を取り巻く課題が複雑化している今、制度ごとの支援ではなく、分野を超えた連携が求められています。綾部市では、関係機関がチームとなってそれぞれの専門性を生かしながら、困難を抱える人を地域から取り残さない取り組みを進めています。

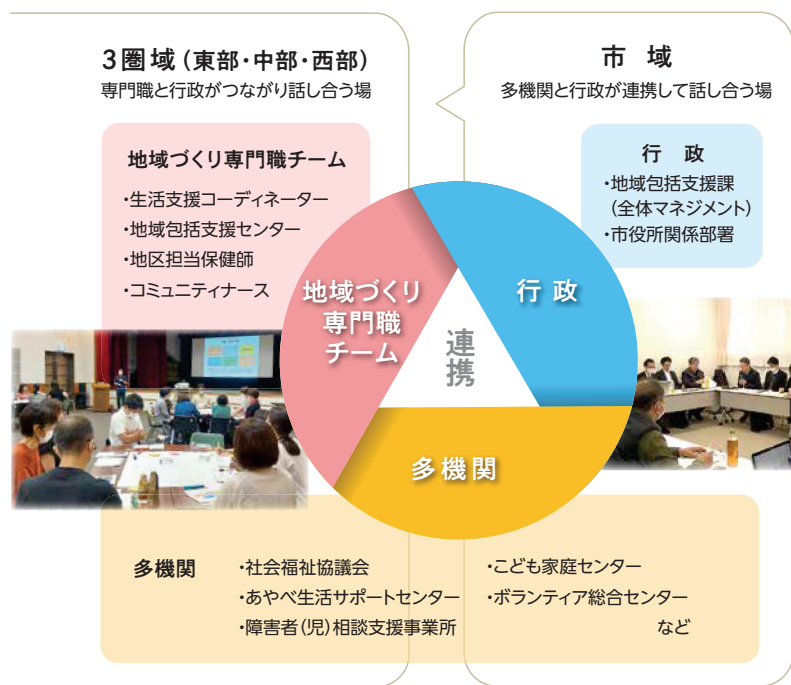
個人や家族を丸ごとサポート

ライフスタイルや時代の変化に伴い、従来の制度の前提条件では想定していなかった事例が多くあります。例えば、80代の親が50代の子の生活を支える「8050問題」や大人に代わり家族の世話をする子ども「ヤングケアラー」など、一つの家庭が複数の深刻なトラブルを同時に抱えるケースが増えています。このような複雑に絡み合った課題に対応するため、国は「重層的支援体制整備事業」を創設。綾部市でも、この事業を活用し、困っている人やその家族を丸ごとサポートする体制づくりを始めています。

切れ目のない伴走を目指す

綾部市では、相談支援機関に共通する課題として、相談の入口・対応・出口の各段階で支援の「はざま」が生じていることが分かりました。例えば、複数の問題を抱えていることから担当機関が曖昧になったり、福祉制度の対象外となっていたりするケースがあります。こうした「はざま」に陥りやすい人を取りこぼさないよう、多機関が連携するとともに、地域の団体やボランティアなども協力しながら、切れ目のない支援を目指しています。

人が抱える困難は誰にでも起こり得るもの。誰もが安心して暮らせるように、互いに支え合う関係をつくっていきましょう。



人と人とのつながりや支え合いについて楽しく学び、地域の交流を深めるイベントを開催します。

日時 9月27日（日）

午前10時～午後3時

会場 あやべ・日東精アリーナ（市民センター、西町三丁目）

あやべ・テラス・ホール（青野町）

第2弾

世界アルツハイマーデー 2026 in AYABE

記念講演

「忘れても私。認知症専門医と本人のリアルな話」

講師 渡邊 究さん

（綾部ルネス病院 脳神経内科医）

下坂 厚さん

（京都府認知症支援大使）

パネルディスカッション

「今から考える おひとりさまサポート」

～アクティブ・エンディング～

（頼れる身寄りのない方これから）

・ファシリテーター

福富昌城さん

（花園大学社会福祉学部 社会福祉学科教授）

あやべ食育・すこやかフェスティバル

健康づくり、子育てをテーマとした学び、体験のブース

相談やライブ

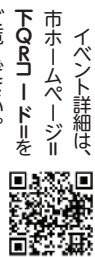
こころの健康フェスタ

アルコール依存症を中心とした、こころの健康に関する

相談やライブ

あやべの体操

イベント詳細は市ホームページ「TOGETHER」をご覧ください。



市功労者等を表彰

市は7月31日、功労者等表彰式を開催。功労者2人、分野別功績者1人、篤志者7人・10団体を表彰しました。被表彰者は次の皆さんです（敬称略、順不同）。



表彰式に出席された皆さん

功労者

山崎善也（青野町）



平成22年に綾部市長に就任以来、4期16年にわたり市政の発展に尽力。都市計画の見直しや水源の里事業の推進、行財政改革を主導し、都市機能の集約、移住・定住促進、企業誘致等を通じて、地域の活力向上に貢献された。さらに、京都府市長会会長などを歴任し、広域行政でも手腕を発揮された。

志賀浩治（宇治市）



平成10年に綾部市立病院に赴任以来28年間、循環器内科医として地域医療の向上に尽力された。平成21年から15年間は副院長を務め、コロナ禍では医療体制の維持に奔走するとともに、ワクチン接種を主導。令和6年から2年間は院長として、病床機能の最適化を進めたほか、住民の健康増進に貢献された。

分野別功績者

安達一男（宮代町）

篤志者

荻野靖巳（味方町）▽河田博文（京都市・山崎路子（滋賀県甲賀市）・河田則文（大阪市）※連名で表彰▽四方祥樹（東京都▽新庄節子（上延町）▽出口紅（亀岡市）▽科研電機（福知山市）▽片山化学工業研究所（大阪市）▽カルビー（東京府豊中市）▽産品工業（大阪府豊中市）▽中江産業（大阪市）▽日東精工（井倉町）▽ファーストダウン（福岡県久留米市）▽福田工業（大阪府枚方市）▽富士商（大阪市）▽ベルテックス（京都市）

農業委員・推進委員決まる

第26期農業委員会の各委員が決定。7月21日、市は農業委員辞令交付式を、同委員会は農地利用最適化推進委員辞令交付式を開催しました。

任期は令和11年まで

農業委員会とは同日、総会を開催し、互選により会長を坂根正司さん、同職務代理者を鎌部勉武さんに決定。その後、会長から農地利用最適化推進委員（以下、推進委員）に委嘱状を交付しました。両委員の任期は、7月20日から令和11年7月19日までの3年間。委員は次の皆さんです（敬称略、順不同）。



四方市長から辞令を受け取る農業委員。7月21日、市役所にて

【農業委員】長尾作哉（陸奥町）▽鎌部勉武（五津合町）▽福井省平（陸奥町）▽齋井隆司（十倉町）▽白波瀬京子（下原町）▽飯田政利（梅迫町）▽相根一夫（上杉町）▽神田一之（七百石町）▽四方聖子（里町）▽四方康尚（同）▽四方諭（味方町）▽雨林利治（高津町）▽高橋加絵（同）▽森下勲（延町）▽居相雅代（小貝町）▽大槻耕治（館町）▽福井泰子（位田町）▽大槻祐紀（西坂町）▽坂根正司（金河内町）【推進委員】仲久保弘志（故屋岡町）▽今井直幸（八津合町）▽清水俊秀（五津合町）▽坂田鎮男（武吉町）▽谷垣正義（上原町）▽柏原明宏（上杉町）▽能勢康司（湖垣町）▽四方範敏（高倉町）▽上柿直一（井倉町）▽西村虎三（岡町）▽大嶋康治（豊里町）▽大槻智（大島町）▽永井久男（栗町）▽片桐好郎（物部町）▽村上秀則（白道路町）▽井上吉夫（志賀郷町）▽松本隆（西方町）



野焼き火災！

刈り草の焼却から山林へ燃え広がるなど、全国的に大規模な火災が発生しています。屋外での火の取り扱いに十分注意し、火災ゼロを目指しましょう。

火災原因の約8割

昨年、市内で発生した火災12件のうち、野焼きが原因の火災は10件でした。過去には、森林や住宅に延焼した火災も発生しています。野焼きは法律で原則禁止されています。

農業・林業などを営むためにやむを得ない焼却は、例外的に認められます。ただし、事前に消防本部などに届け出てください。

刈り草はどう処分すればいい？

「守ろうごみマナー」に基づいて分別し、市の収集に出すかクリーンセンターに直接持ち込んでください。また、刈り草は農地に還元するなどご協力をお願いします。

乾燥・強風時は特に注意を

火災が発生・延焼しやすい気象状況になった場合、市は注意報や警報を発令し、屋外での火の使用を制限します。

林野火災注意報発令

前3日間の合計降水量1mm以下＋乾燥注意報発表時

火の使用は控えてください

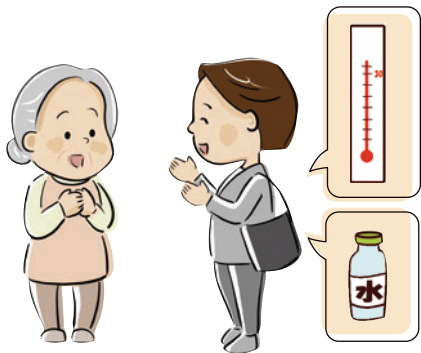
林野火災警報発令

注意報の発令基準＋強風注意報発表時

火の使用は禁止です

問い合わせ・届け出先

- たき火等を行う時
消防本部予防課
☎(42)0119
- 野焼きの相談・煙の苦情
環境政策課
☎(42)1489
- 火入れ申請(岸焼き)
林政課☎(42)4362



孤立防ぐ声掛けを

近年、記録的な暑さが続いています。暑さによって健康や暮らしが脅かされるようなときには、地域や社会全体で互いに見守り、支え合うことが欠かせません。

辛いときや困ったときに誰かを

頼ることは決して恥ずかしいことではなく、地域とのつながりを深める前向きな行動です。しかし、「周囲に迷惑をかけたくない」「自分はまだ大丈夫」という思いから、体調が悪くても助けを求められない人もいます。そして、こうした心の壁が命に関わる深刻な事態を招く恐れがあります。

「暑いですね」「体調は大丈夫ですか」。そんな何気ない声掛けは、単なるあいさつではありません。「あなたのことを気に掛けています」「困ったときは力になります」という気持ちを伝える、大切なメッセージになります。

一つの声掛けが孤立を防ぎ、誰もが住み慣れた場所で、安心して暮らせる優しい地域づくりにつながります。これこそが、人権尊重の第一歩です。この夏、あなたも身近な人を思いやる一言を始めてみませんか。



シリーズ 人権を考える 酷暑を乗り切る 支え合い

PTX プロジェクトチームX 研究チームを紹介!

多彩なテーマで研究に取り組むチームが集まっています。今号でも、エントリーのあったチームの一部を紹介します。

● あやべ保育防災プロジェクト (代表：渡邊 友子)

自然災害や感染症などの非常時に備え、保育現場の相互協力体制づくりについて研究します。子どもたちの安全確保や保護者の安心、地域防災力の向上につなげることを目指します。

● 多様なコミュニケーション手段が活きるまち綾部 (代表：滝野 千里)

人生 100 年時代を見据え、加齢性難聴への理解を深めるため、聞こえに関する情報を記録・共有できる仕組みづくりを研究します。

● 災害ボランティアチーム綾部 (代表：桑井 登志子)

全国的に頻発する災害に備え、一人一人の防災意識の向上を目指します。講演会を通じて「自助」「共助」の大切さを学び、地域で助け合える体制づくりについて研究します。

● あやタス (代表：野口 久徳)

高齢化や過疎化による担い手不足の解消に向け、地域を応援するサポーター組織を創設し、関係人口の拡大や持続可能な集落づくりについて研究します。

● 西方中興グリーンラボ (代表：松本 満)

高齢化や過疎化による農地や農村環境の維持管理の課題に対し、移住者と地元住民が協力し、持続可能な地域の在り方について研究します。

● 私市円山古墳次世代活用プロジェクトチーム (代表：安岡 猛)

私市円山古墳を次世代へ継承するため、若者や子育て世代を巻き込む活用アイデアを研究し、交流人口の増加や古墳の保全資金獲得につながる仕組みづくりを目指します。

図書館ほんでほんで通信mini

第26回 雑誌サービスデー

保存期間が過ぎた雑誌を
無料で配布します!

- 日時 10月3日(土) 午前10時~正午
- 場所 図書館1階ものづくりコーナー
- 対象の雑誌 令和5年4月号~令和6年3月号

※5年間保存していた雑誌(令和2年4月号~令和3年3月号)も対象です。
※雑誌によっては冊数制限があります。雑誌がなくなり次第終了します。

＜問い合わせ＞ 図書館 ☎(42)6980 ☎(42)4570



今月の手話

避難



両手を握って、
素早く腕を斜め上に動かす
(逃げる様子を表す)

動画で動きを確認できます。
ぜひご覧ください。



協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

源ちゃんコラム

由良川 ⑥



出生数200人を目標に!

総合計画をご存じでしょうか? 総合計画は行政の基本マニュアルです。住宅建設に例えると施主である市民の「こんな家に住みたい」という希望に沿って描かれた設計図が「総合計画」であると言えます。設計図を見て家を建てるのは市長はじめ市役所の職員であり、綾部市の各部署は総合計画に示された目標に沿って予算を立て、事業を執行していきます。

6月議会では特別委員会等での議論を経て、第6次綾部市総合計画の後期基本計画が賛成多数で可決されました。この計画は令和3年度から10年間の計画ですが、前期5年が経過したので令和8年度からの後期基本計画を今回策定しました。

策定に当たり、私は「指標の再検討」を提案しました。「その指標に意味があるのか?」と感じる

指標も数多くあったからです。再検討の結果、109あった指標は69に絞られました。再検討をしたことにより目標達成に向かう職員の意識は引き締まったものになったと思います。

もう一点、全体で取り組む重点目標として「出生数200人」と「人口の社会増50人」という年間目標を立てました。人口減少は自治会や公共交通、学校、病院の維持など、綾部市が抱えるさまざまな課題の根本原因です。人口減少を食い止めるには市職員が共通の目標を持って、同じ方向に向かって努力する必要があります。直接は子育て支援に関係ない部署でも全体としての目標を持つことで「他人事」としないことが重要です。

綾部市の出生数はコロナ禍前の令和2年には201人でしたが、令和6年には105人にまで落ち込みました(令和7年は149人に回復)。これを元の200人以上に戻すことで学校を維持し、地域を守りたいと考えています。

若者が夢や希望を持ち、子どもを産み育てやすい綾部市を実現するためにも、総合計画で立てた目標を達成するために取り組んでまいります。

四方源太郎(綾部市長)